

婦人関係資料シリーズ
参 考 資 料 No. 43

労働者の不就労理由予備調査結果報告書

— 労働省婦人少年局



は し が き

婦人少年局では好む若家族の福祉増進のための対策の基礎資料とする目的をもつて、かねてから種々の調査を実施してきましたが、ここにまとめた報告も同じ目的によつて企画されたものです。今回の調査は試験的に行つたものですが、調査対象に選ばれたかたがた並びにご協力頂いた事業場のかたがたに深く感謝いたします。

昭和32年7月

労働省婦人少年局

目次

は し が き

1. 調査の目的	1
2. 調査の方法	1
3. 調査の概要	1
4. 結果の概要	2
5. 統計表	9
6. 調査票	14

1. 調査の目的

労働者にとって家庭は労働力再生産の場であり、その家庭生活の運営如何は、労働者の勤務状況を左右する重要な要件の一つであると考えられる。

そこで労働者の労働日における不勤労の理由等を明らかにすることによつて、家庭の事情と労働者の出勤状況との相関関係を明らかにしようとしたものである。

2. 調査の方法

(1) 調査対象者

東京都内の機械器具工業の事業場（大規模）2ヶ所に働く現場勤務の既婚男子労働者について、従業員名簿から500人を無作為抽出によつて選んだ。

(2) 調査方法

質問票による個人調査で、調査員によらず対象者自身が記入する方法をとつた。

(3) 調査期日

昭和31年11月下旬

(4) 回収票数

回収票	431	回収率	86.2%
有効票	412	有効率	82.4%
不能票	19		

3. 調査の概要

この調査では、労働者が労働日に不勤労した日、あるいは時間のすべてについてその理由を把握することが目的であるから、欠勤のほか、年次有給休暇、特別休暇、遅刻、早退についてもその理由を調査した。

調査の対象とした期間は昭和31年1月から実施の11月までである。なお、年休の制度は二事業場とも前年度の残日数を今年度の日数に加えることになっており、最高は40日、最低は一方の事業場では20日、他は6日となっている。

調査事項は(1)基本事項(2)不妊状況(3)生活技術についての関心の三項目である。不妊状況についての設問は、不妊の事実の有無、頻度、事由、措置等に関するものである。まず不妊の理由を二つに分けて、「自分のこと」と「家庭の事情」とした。この二つを更に分けたのであるが、「自分のこと」については「用事」「陽病」「慰安」「その他」の四つの欄を設け、「家庭の事情」についてはまず二つに区分し、その一つを「自分ではなけりなはかつたこと」とし、これを「主婦の病氣・出産」「他の家族の病氣など」「子供の学校のこと」「その他」の四つの欄に分け、他の区分「主婦の手がわりをしたこと」の方は「主婦の病氣・出産」「主婦の不在」「その他主婦が他のことに手をとられたので」の三つの欄に分けて、調査票を用意した。理由の記入については、会社への届出にかかわらず、真実の理由をあげるように求めた。

4. 結果の概要

(1) 基本事項

労働者の年齢、勤続年数、月収

調査対象の年齢構成は35才以上44才未満の壮年層が78.2%で大半を占め、30才未満(6.8%)と45才以上(13.1%)は少ない。

したがって勤続年数をみても15年以上のものが最も多く約50%を占め、5年以上、10年未満が23.5%、10年以上15年未満が19.2%となっている。

月収(税込)は2万円以上3万円未満のものが半数をこえ58.

8%を占め、ついで3万円以上4万円未満のものが次ぐ22.8%ある。なおこれは残業が多くない月の収入である。

家族構成、妻の職業

家族構成をみると、都市の労働者家族の標準型といわれる「夫婦と子」の構成のものが最も多くみられ55.3%あり、親がともにあるものは30%。その他の親族(兄妹、甥、姪等)が加わっているもの18.2%となっている。

家族数は9人が最高であるが極く少く、3人から6人家族が多くみられ(合計79.5%)その中では5人家族が最も多い。

子供の数は一般に少く、3人までのものが有子労働者の86.4%に及んでいる。最も多いのは2人のもので35.2%、ついで1人の27.7%である。

妻の職業については、いわゆる大稼ぎの妻は非常に少く、自営、勤務をあわせても7%にすぎない。このほか内職をしているものは10.9%あり、77.5%のものは家事のみということになる。

住居関係

住居を所有別にみると、自分の持家に住んでいるものが最も多く半数に近い47.2%を占めている。

そのほかは社宅(寮を含む)17.9%、借家16%、借間9.7%とまちまちである。ちなみにこれら労働者は他都市へ転勤を命ぜられることはないということである。

住居を通勤時間別にみると、半数に近い47.1%のものは30分以上1時間未満のところにあるが、1時間以上2時間未満のものが29.6%、2時間以上とわかれるものが僅かであるが3.2%ある。

(2) 不妊状況

不妊の状況をみると、自分のことで休んだ場合は年休が4,982日、欠勤が1,173日となっており、家庭の事情で休んだ場合は、年休が2,269日、欠勤が1,70日となっているが、不妊に関する項目の集計をするにあたっては次に述べるような問題があった。

すなわち回収された調査票の回答をみると、「自分のこと」のうち「慰安」を除く「用事」「傷病」「その他」等については、別の理由である「家庭の事情」と混同し、あるいは重複記入をしていると思われるものが若干ある。このことは、たとえば年次有給休暇として休んだという日数の合計が1人で40日をこえるものがある点から改めて明らかである。しかし「自分のこと」としての「慰安」については「家庭の事情」の中の主婦の病気出産や、その他の家族についてのいろいろの事情等と混同することはなかったであろうと思はれる。また「自分のこと」の中に「家庭の事情」の方へ記入されるはずのものもあるかもしれないが、それは分離できないので「家庭の事情」の欄に記入されたものとみなし「家庭の事情」によるものとして集計することとした。したがって「家庭の事情」による不就労の実際の日数は集計にあらわれた日数よりも上回るものと考えられる。

労働日における不就労の有無、日数、理由

有効票412のうち、全労働日を出勤したものは11人、労働日に不就労の事実（年休、特休、欠勤、遅刻、早退）のあったものは401人であるが、そのうち不就労の理由について無回答のものは3人である。なお、年次有給休暇による不就労が最も多く、次に多いのは欠勤であるが、その大部分は長期欠勤である。

さきに述べたような問題があるために、不就労の総日数については明らかにすることはできないが、「家庭の事情」として集計した不就労の日数は2,539日（年休、特休、欠勤の計）で、このうち年休の日数は2,269日であり、これは「自分のため」の慰安休養の日数1,112日（年休）をはるかに上回っている。

これをそれぞれ1人当たりの平均で見ると、家庭の事情による年休は5.70日、自分の慰安休養による年休は2.82日である。これを年令別にみると、家庭の事情で休んだ場合は35才以上39才までの層が6.7日で他よりも僅かに多く、45才以上の層は3.9日で最も少い。慰安休養で休んだ場合は30才未満の層が3.6日で他よりも僅かに多く、45才

以上の層は2.3日で最も少い。ついで勤続年数別にみると、家庭の事情で休んだ場合は、10年以上15年未満の層が6.9日で他よりも僅かに多く、5年未満の層は2.7日で最も少い。慰安休養で休んだ場合は、15年以上の層が2.9日で僅かに多く、5年未満の層が1.9日で最も少くなっている。

つぎに家庭の事情の内わけについてみると、誰のために、どのような事情で休まなければならなかったかは様々である。最も多いのは主婦の病気、出産、不在等すなわち主婦に何等かの事情があつて休んだという場合であつて、それは年休、特休、欠勤、遅刻、早退を通じて他の家族の病気や子供の学校のことなどで休むよりも遙かに多くはつている。すなわち、年次有給休暇では主婦に事情があつたものの41.5%に対し、その他の家族の病気や子供の学校のことが25.7%、特休では71.0%と27.0%、欠勤では51.2%と9.4%、遅刻では64.0%と18.9%、早退では37.0%と17.0%とはつている。

(3) 近所者の家政に対する関心

家政への関心

家政のじようすへたが生活の向上に影響すると思うかという傾向に対しては大部分（81.6%）のものが大変影響すると思つている。また半数（50.7%）のものは自分の家では家政は手ざわよくいつていると思つているが、今よりもつとじようすになることを望むものは81.8%の多数に上つている。家政のどの面について望むかについては、家計（56.7%）、家事（42.7%）、育児（34.4%）、家族計画（22.3%）の順になつている。（MA）

家事担当者が事故の場合の措置

家事担当者が病気その他の事情で人手がほしいとき、すぐ手伝つてもらえるような親戚や知人が手近にあるかという傾向に対して、過半数の61.2%のものは「ある」と答えているのに、今後そのような場合には親戚や近隣の人に頼むというものは36.2%にすぎず、「自分が勤務を休む」と答えているものが約40%もある。

このことは年次有給休暇に関する項目の結果において多くの労働者が年休を大部分残している点と、年休をとつても自分の慰安休養のためよりも家庭の事情のための方が多という実状に関連があるようである。

なお、希望としては、少額の負担で手軽に預める家政婦の制度が労働者のためにあるならば親戚や近隣の人などに頼むよりもよいとするものが71.4%ある。

5. 統計表

I. 調査対象者

表1. 年令別

総 数	412	100.0%
30才 未満	28	6.8
30才 ~ 34才	114	27.7
35才 ~ 39才	119	28.9
40才 ~ 44才	89	21.6
45才 以上	54	13.1
無 回 答	8	1.9

表2. 勤続年数別

総 数	412	100.0%
5年 未満	24	5.9
5年 ~ 10年	97	23.5
10年 ~ 15年	79	19.2
15年 以上	211	51.2
無 回 答	1	0.2

表3. 月収別

総 数	412	100.0%
1万円 ~ 2万円未満	70	17.0
2万円 ~ 3万円	242	58.8
3万円 ~ 4万円	94	22.8
4万円 ~ 5万円	5	1.2
無 回 答	1	0.2

II. 家 族

表4. 家族構成別

総 数	412	100.0%
夫婦だけ	30	7.3
夫婦と親	7	1.7
夫婦と子	228	55.3
夫婦と子と親	72	17.5
夫婦と親とその他	9	2.2
夫婦と子とその他	24	5.8
夫婦と子と親とその他	36	8.7
夫婦とその他	6	1.5

その他は兄弟、姪、甥等である

表5. 家族数別

総 数	412	100.0%
2 人	30	7.3
3 人	75	18.2
4 人	87	21.1
5 人	94	22.8
6 人	72	17.4
7 人	32	7.8
8 人	16	3.9
9 人	6	1.5

表6. 子供の数別

総数	人数	割合	100.0%
1人	100	22.8	
2人	127	29.3	
3人	84	23.3	
4人	30	8.3	
5人	15	4.2	
6人	3	0.8	
7人	1	0.3	

表7. 妻の職業の有無

総数	あり	割合	100.0%
あり	29	7.0	
内職	45	10.9	
なし	319	77.5	
無回答	19	4.6	

Ⅲ. 住居

表8. 所有別

総数	412	100.0%
自分の持家	194	47.2
借家	66	16.0
借間	40	9.7
社宅(寮を含む)	74	17.9
公営住宅	32	7.8
その他	5	1.2
無回答	1	0.2

表9. 通勤時間別

総数	412	100.0%
30分以内	80	19.4
30分~1時間	194	47.1
1時間~2時間	122	29.6
2時間以上	13	3.2
無回答	3	0.7

Ⅳ. 不登労状況

表10. 不登労者数

総数	全労働日 就業者	不登労者		
		計	理由記入	理由無記入
412人	11人	401人	398人	3人

表11. 種別理由別自分のことによる不登労延日数

	総数	用事	傷病	黙安休養	その他
年次有給休暇	4,982	2,499	1,357	1,121	484
特休	365	90	270	0	5
欠勤	1,173	131	1,007	0	32
遅刻(回数)	292	142	3	9	138
早退(回)	219	171	25	1	22

表12. 種別理由別家庭の事情による不登労延日数 -1-

	総数	自分では解決できなかったこと				主婦の手がわりをしたこと		
		主婦の病欠・出産	他の家族の病欠・出産	子供の学費のこと	その他	主婦の病欠・出産	主婦の手がわりをしたこと	子供の学費のこと
年次有給休暇	2,269	569	430	153	744	200	191	72
特休	100	61	24	3	2	10	0	0
欠勤	170	85	16	0	67	17	0	5
遅刻(回数)	164	48	27	4	74	4	0	7
早退(回数)	100	29	10	7	46	3	3	2

表13. 種別理由別家庭の事情による不登労延日数 -2-

	総数	主婦の病欠・出産・不妊等	その他の家族・子供の学費のこと	その他
年次有給休暇	2,269日	942	583	744
特休	100	71	27	2
欠勤	170	87	16	67
遅刻	164回	59	31	74
早退	100	37	17	46
同上%				
年次有給休暇	100.0	41.5	25.7	32.8
特休	100.0	71.0	27.0	2.0
欠勤	100.0	51.2	9.4	39.4
遅刻	100.0	64.0	18.9	45.1
早退	100.0	37.0	17.0	46.0

表14. 理由別家庭の事情によつて休んだ年次有給休暇延日数及び比率

	総数	自分ではけいれはなかつたこと				主婦のきかりをしたこと		
		主婦の病欠出産	他の家族の病欠	子供の学校のこと	その他	主婦の病欠出産	主婦の不在	その他主婦が家事をすることが出来なかつたこと
延日数	2,269	569	430	153	744	200	101	72
比率	100.0%	25.2	19.0	6.7	32.8	8.8	4.3	3.2

表15. 理由別家庭の事情によつて休んだ年次有給休暇延日数及び比率

	総数	主婦の病欠出産・不在等	その他の家族や子供の事
延日数	2,269	942	583
比率	100.0%	41.5	25.7

表16. 年令別勤続年数別家庭の事情で休んだ年次有給休暇延日数及び平均日数
(1)不労のうち理由無回答のものを除いた318人についての平均である。

	総数	不労者数	汚損晒害	延日数	平均日数	全労の日数
総数	412	401	3	2,269	5.7	11
年令別	30才未満	28	28	1	162	6.0
	30才~34才	114	113	1	626	5.6
	35才~39才	119	116	0	776	6.7
	40才~44才	89	86	0	449	5.2
	45才以上	54	50	1	189	3.9
	不明	8	8	0	67	8.4
勤続年数別	5年未満	24	22	1	56	2.7
	5年~10年未満	97	96	1	590	6.2
	10年~15年	79	77	0	529	6.9
	15年以上	211	205	1	1,075	5.2
	不明	1	1	0	19	19.0

表17. 年令別勤続年数別自己の健康で休んだ年次有給休暇延日数及び平均日数

	総数	不労者数	汚損晒害	延日数	平均日数	全労の日数
総数	412	401	3	1,121	2.8	11
年令別	30才未満	28	28	1	98	3.6
	30才~34才	114	113	1	342	3.0
	35才~39才	119	116	0	294	2.5
	40才~44才	89	86	0	227	2.6
	45才以上	54	50	1	116	2.3
	不明	8	8	0	44	5.5
勤続年数別	5年未満	24	22	1	40	1.9
	5年~10年未満	97	96	1	269	2.8
	10年~15年	79	77	0	219	2.8
	15年以上	211	205	1	591	2.9
	不明	1	1	0	1	1.0

1) 不労のうち理由無回答のものを除いた398人についての平均である。

V. 家政に対する関心

表18. 家政のじようずへたが生活の向上に影響すると思ひますか

総数	412	100.0%
大変影響する	336	81.6
それほど影響はない	29	7.0
影響はない	9	2.2
わからない	16	3.9
無回答	22	5.3

表19. お宅では家政がてきよくいつていと思ひますか

総数	412	100.0%
思ふ	209	50.7
思はない	145	35.2
わからない	27	6.6
無回答	31	7.5

表20. ご家族が今よりむしろ家政が
じようすにはる暇があれ
ばいいと思いませんか

総 数	412	100.0%
思 っ	337	81.8
思 わ ない	29	7.0
わ かり ない	18	4.4
無 回 答	28	6.8

表22. 家事担当者が病气やその他の
事情で人手がほしい時すぐ
手伝つてもらえるような親戚
や知人が手近にありますか

総 数	412	100.0%
有	252	61.2
無	141	34.2
無 回 答	19	4.6

表23. 今後の問題として家事担当
者が病气やその他の事情で家
事ができないとき、あなたに
どうする方法をえられますか
(MA)

総 数	412	100.0%
自分が勤務を休む	158	38.4
家族間でやりくり	133	32.3
親戚をたのむ	101	24.6
近隣の人にたのむ	48	11.6
女中・家政婦など雇う	17	4.1
そ の 他	3	0.7
無 回 答	16	3.9

(1). 二つ以上答えたものがあるため個々の数の合計は総数に一致しない。

表21. それは家政のどの面ですか
(MA)

総 数	337	100.0%
家 計	191	56.7
家 事	144	42.7
育 児	116	34.4
家 族 計 画	75	22.3
そ の 他	4	1.2
無 回 答	18	5.3

- (3)で思うと答えたものだけに
ついても数である。
- 二つ以上答えたものがあるの
で個々の数の合計は総数に一致
しない。

表24. 自分が勤務を休む(年令別)

総 数	158	100.0%
29才未満	16	10.2
29才～34才	52	32.9
35才～39才	50	31.7
40才～44才	29	18.3
45才～49才	9	5.7
50才以上	1	0.6
無 回 答	1	0.6

(12)

表25. 勤労者の少額の負担で手軽
にたのめるような家政婦の制
度があるとしたら親戚や近所
の人に頼むよりいいと思いま
すか

総 数	412	100.0%
思 っ	294	71.4
思 わ ない	63	15.3
わ かり ない	33	8.0
無 回 答	22	5.3

(3)

質問票

労働省婦人少年局

I. あなたのことについておたずねします。

(該当する箇所を囲んで下さい)

1. お仕事は何ですか(溶接工、検査工というように書いて下さい)

2. 年令はおいくつですか(満で)

才

3. 月収(税込)はどのくらいですか

1. 1万 — 2万円未満 2. 2万 — 3万円未満
3. 3万 — 4万円 4. 4万 — 5万円
5. 5万 — 6万円 6. 6万円以上

4. いまの会社にどのくらいお勤めですか

1. 1年未満 2. 1—2年未満 3. 2—3年未満
4. 3—5年未満 5. 5—10年 6. 10—15年
7. 15—20年 8. 20年以上

5. あなたのこし一年間の年次有給休暇は何日ありますか。

日数を書いて下さい 日

II. ご家族のことについておたずねします。

1. あなたにはどのようなご家族がいらっしゃるでしょうか。下の表に記入して下さい。

(注) イ. 続柄の欄には、あなたとの関係を書いて下さい。

ロ. 職業の欄で、学生は小学、中学、高校のように書いて下さい。

ハ. 備考の欄には、別居、入院(長期の病)というように特別の状態についてだけ書いて下さい。

イ. 続柄							
性別							
年令							
ロ. 職業(学校)							
ハ. 備考							

2. ご家族以外に同居人や雇人がありますか。あつたら下記の表に記入して下さい。

(注) ここで同居とは、同居でも同居でもかまいません。
続柄の欄には、同居人は同居、雇人は雇と書いて下さい。

続柄							
性別							
年令							
職業(学校)							

3. あなたの奥様のことについて該当する箇所を囲んで下さい。

- (1) 1. 健康 2. やや不健康 3. 不健康
(2) 奥様は自分のうちの家事以外に何か仕事をむつておられますか。
1. もつている 2. もつていない
(次の順向(3)はもつていないかただけへのおたずねです)
(3) それはどんな仕事ですか。

たとえば、事務員、日雇、百貨店のパートタイムの店員、週三日かどう家政婦、菓子屋を営業している、美容院、助産婦を営業している、共済の人の手帳を預っている、ときどき内販をする。—— というように何く時間や場所のことが分るようにくわしく書いて下さい。

III. 住居に關することをたずねします。

(該当するところを囲んで下さい)

1. あなたのお住いは下のどれに当たりますか

1. 自分の持家 2. 借家 3. 借間 4. 社宅(寮を含む)
5. 公営住宅 6. その他

2. 建物は下のどれに当たりますか

1. 世帯ごとに炊事施設がある戸別住宅
2. 世帯ごとに炊事施設がない共同住宅
3. 一戸建
4. 二戸建

3. 地域について

1. 集団住宅地域にある

(一つの企画のもとに社宅、都営住宅などが数戸以上集団的に建てられているところ)

2. 非集団住宅地域にある

4. 通勤時間について

1. 30分以内 2. 30分～1時間以内 3. 1時間～2時間以内 4. 2時間以上

IV. 欠勤などの事情についておたずねします。

1. あなたは今年一月以来休みをとられましたか

この場合は有給休暇も欠勤として答えて下さい

1. 皆勤だった
2. 欠勤をした(遅刻、早退を含む)

(次の質問2と3は皆勤でなかった方へのおたずねです)

2. 今年一月以来、自分のことで欠勤(遅刻、早退)したことがあったら下の表に記入して下さい。

(注) 欠勤理由は会社への届けに關係なく事実を書いて下さい。
ここでは自分のことだけで家族や家庭のことは腹内でおたずねします。
有給休暇を欠勤と区別して下さい。
質問3についても同じ。

(自分のこと)

したこと	わけ	1. 用事	2. 傷病	3. 慰安	4. その他
a. 有給休暇		日	日	日	日
b. 特 休		"	"	"	"
c. 欠 勤		"	"	"	"
d. 遅 刻		回	回	回	回
e. 早 退		"	"	"	"

3. 今年一月以来家庭の事情で欠勤(遅刻、早退を含む)したことがありましたか。その事情を自分でなければならなかった場合と、主婦の手がわりをした場合とに分けて下の表に記入して下さい。

(家庭の事情)

したこと	わけ	自分でなければならなかったこと				主婦の手がわりをしたこと		
		1. 主婦の病氣出産	2. 他家族の病氣など	3. 子供の学校のこと	4. その他	5. 主婦の病氣出産	6. 主婦の不在	7. その他主婦が他のことに手まわされたので
a. 有給休暇		日	日	日	日	日	日	日
b. 特 休		"	"	"	"	"	"	"
c. 欠 勤		"	"	"	"	"	"	"
d. 遅 刻		回	回	回	回	回	回	回
e. 早 退		"	"	"	"	"	"	"

4. 今年一月以来、主婦の手がわりをしなければならなかったために出勤しにくかった——しかも休まずにすませたいということがありましたか。それはどのような事情で、どうされたか。

下の表に回数を記入して下さい。

事情 した人	1. 主婦の病気 出産	2. 主婦の不在	3. その他主婦が他のこと に手をとられたので
a. 一人に家族にたのんた			
b. 親戚にたのんた			
c. 同居の人にたのんた			
d. 近所の人にたのんた			
e. 臨時に人をやとつた			
f. 時に誰にもたのんた			
g. その他			

V. 家政に困っておたすねしますく該当する箇所を囲んで下さい

1. 家計、家事、育児などの家政について、下記の点はどのようにお考えですか。

(1) 家政のじようずへたが生活の向上に影響すると思いませんか。

1. 大変影響する 2. それほど影響しない
3. 影響しない 4. わからない

(2) お宅では家政が手ぎわよくいつていると思いませんか。

1. 思う 2. 思わない 3. わからない

(3) ご家族が今よりもつと家政がじようずになるための機会

(講習会、ラジオ、雑誌などによる)があればよいと思いませんか。

1. 思う 2. 思わない 3. わからない

(思うかたのみについて)

(4) それは家政のどの面ですか。

1. 家計 2. 家事 3. 育児 4. 家族計画
5. その他(具体的に書いて下さい)

2. 家事担当者が病気やその他の事情で人手がほしいとき、すぐ手伝つてもらえるようは親戚や知人が手近にありますか。

1. 有 2. 無

3. 今後の問題として、家事担当者が病気やその他の事情で家事ができないとき、あなたはどのような方法をとりたいと思いませんか。

1. 自分が勤務を休む 2. 家族間でやりくりする
3. 親戚にたのむ 4. 近所の人にたのむ
5. 女中、派遣婦などを雇う 6. その他

4. 勤労者が小額の負担で手軽に頼めるような家政婦の制度があるとしたら親戚や近所の人に頼むよりよいと思いませんか。

1. 思う 2. 思わない 3. わからない